

# 家康あつての「駿府政権」

徳川時代の歴史の意  
義を研究、発信する「徳  
川みらい学会」(会長  
・芳賀徹 奈良美術館  
長)の第5回講演会が  
12日、静岡市葵区の市  
民文化会館で開かれ  
た。静岡大の本多隆成  
名誉教授は家康の駿  
府城での大御所時代  
に触れ、「駿府と江戸  
で二元政治が行われ  
ていたが、実質的な権  
限は家康側が圧倒的  
に大きかった」と説明  
した。

「家康の大御所政治



家康の大御所政治について解説する本多氏  
|| 静岡市葵区の市民文化会館

徳川時代の歴史の意  
義を研究、発信する「徳  
川みらい学会」(会長  
・芳賀徹 奈良美術館  
長)の第5回講演会が  
12日、静岡市葵区の市  
民文化会館で開かれ  
た。静岡大の本多隆成  
名誉教授は家康の駿  
府城での大御所時代  
に触れ、「駿府と江戸  
で二元政治が行われ  
ていたが、実質的な権  
限は家康側が圧倒的  
に大きかった」と説明  
した。

「請」や、外交顧問を置  
いてオランダやイギリ  
スとの貿易のきっかけ  
をつくったことなどさ  
まざまな政策を紹介し  
た。

「家康の下には奉行  
衆や僧侶、学者など優  
秀な人材がそろってい  
た」とした上で、「家  
康の死後、その権限は  
江戸に移った。家康あ

つての『駿府政権』だ  
った」と述べた。  
家康が自らの死後に  
ついて、遺体を久能山  
に納めるよう遺言して  
いたことにも触れた。